

# 道の駅基本構想(案)に対する意見募集結果

(市長戦略部戦略推進課)

市では、道の駅整備を進める基本方針となる「道の駅基本構想」を策定しており、道の駅基本構想(案)に対してパブリックコメントを実施したところ、多数の意見をいただきました。

意見の要旨と、それに対する市の考え方を公表します。なお、いただいた意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しています。

## 1 募集期間

令和6年5月13日(月曜日)～6月7日(金曜日)

## 2 意見の提出方法と件数

提出方法	件数(件)	人数(人)
担当課または支所に直接提出	1	1
郵送	1	1
ファクス	0	0
メール	1	1
パブリックコメント提出フォーム	41	36
計	44	39

※上記以外に、実施要項に定めた条件を満たしていなかった意見の提出が7件ありました。これらの意見についても、参考とさせていただきます。

## 3 意見の要旨と市の考え方(別紙)

いただいた意見は集約しています。

## 4 問い合わせ先

市長戦略部戦略推進課(担当:根上)

電話 055-995-1804

ファクス 055-993-3607

### 3 意見の要旨と市の考え方（別紙）

裾野市パブリックコメント制度実施要綱（平成 25 年裾野市告示第 34 号）第 7 条第 3 項の規定により、意見等を提出したものに個別の回答は行わないものとし、提出された意見等のうち類似の意見等及びこれに対する実施機関の考え方をまとめて公表するものとする。

#### 1 はじめに〔道の駅基本構想(案)1ページ〕

意見要旨	市の考え方
○意見なし。	—

#### 2 道の駅整備の目的〔道の駅基本構想(案)2ページ〕

意見要旨	市の考え方
<p>○道の駅の整備目的は、「賑わいの場の創出」を第一目的とし、「道路休憩の場」「富士山とその恵みを PR する場」は機能のひとつとすべきではないか。</p> <p>○P1 ほか、④災害対応の拠点については、課題、方向性の中にあるが、目的に追加した上で、課題や方向性で示す方が相応しいと思う。また、⑤地域の魅力を感じる場については、富士山資料館、深良用特別展示室、若山牧水展示室、郷土資料館などの集約や裾野の魅力を発信、体感することで、他の道の駅との差別化を図ることが必要ではないかと思うため、「道の駅整備の目的」に、「④災害対応の拠点となる場の創出」「⑤地域の魅力を感じる場の創出」を追加したらどうか。</p> <p>○P2 の目的、下部図 「道の駅の整備」により「裾野市の開発や取組が増加」とあるが、このフローに関する説明が必要ではないか。（例えば、開発とは周辺の市街化編入等に可能性が出てくることによる。企業誘致や定住移住の取組が増加など。）ただし、フロー図上特出しでの記載は重要度が高いと見られるため、注意が必要。</p> <p>○P2.2 道の駅整備の目的の部分 『整備することにより』という表現では、時系列として整備後にそのような動きをもたらすという意味に聞こえる。『整備することに併せ』とすることで、オープンと同時に効果が出ることを念頭に置いた動きも含めることができ、求める姿に近い表現になると思う。</p>	<p>○P2 の道の駅整備の目的に記載しておりますが、裾野市が主体となり、「賑わいの場の創出」「道路休憩の場の創出」「富士山と富士山の恵みを PR する場の創出」の目的を達成する拠点として道の駅を整備することにより、「“ヒト・コト・モノ”の好循環を生み出すこと」を目指しています。3つの目的が相まって効果が発現されるため、すべてを重要な要素として位置付けています。「災害対応の拠点となる場」「地域の魅力を感じる場」は、今後策定する基本計画の中で、導入機能・施設として検討していきます。</p> <p>○ご指摘のとおり、民間事業者による開発などの機運が醸成され、周辺への相乗効果の期待を表現していますが、フロー図の簡潔さを維持するため、ご意見として伺います。</p> <p>○「整備することにより」という表現を「整備することに併せ」に変更するご提案について、表現の違いによる効果の伝え方の違いは理解しております。しかし、基本構想では、「整備することにより」の表現を維持し、整備後に具体的な効果を期待する姿勢を示しています。相乗効果を発揮するための動きも注視していますので、ご意見として伺います。</p>

### 3 解決すべき裾野市の課題【道の駅基本構想(案)3～5ページ】

意見要旨	市の考え方
<p>○裾野市には誇れる自然、歴史、文化が多くあるが、市民でさえも知らないことも多く、広くまちの魅力を市内外に情報発信し、その魅力に多くの方が触れてほしい。しかし、伝える場、感じる場がないことが課題であるため、P4の課題、④と⑤の間に、課題⑤「誇れる地域資源の活用」として、「・裾野市では富士山世界文化遺産の構成資産である須山浅間神社をはじめ、富士山に纏わる数々の貴重な資料が存在している。さらに、世界かんがい遺産の深良用水や裾野市で培われた歴史、文化を広く市内外に発信することが必要です。」「・地域の魅力であるヒト・モノ・コトを知り、さらに裾野の良さを感じてもらう場の整備が必要です。」を追加したらどうか。</p>	<p>○裾野市が誇る自然、歴史、文化を広く発信し、市内外の人々にその魅力を感じてもらうためには、情報発信の場や体験の場が必要であると認識しています。特に、富士山世界文化遺産の構成資産である須山浅間神社や世界かんがい遺産の深良用水などの貴重な地域資源は、市の重要な魅力の一部です。これらの資源を活用し、地域の魅力を広く発信することが課題の一つであるとのこと指摘については、「課題③“通過”するまち」の中で「通過する多くのヒトやモノの流れを交流人口・関係人口創出の切り口として取り込み、市内へ好循環を生み出す拠点の整備」に含まれるものと考えていますので、ご意見として伺います。</p>
<p>○P6に①観光地としての拠点 北部の観光集積エリアへの訪問客を市内の中心地に呼び込み、また、裾野駅周辺・岩波駅周辺エリア等の市街地とつながる結節点となる拠点の整備とあるのに469号線沿いを候補地とするのは整合性がとれない。また投資に対し車の通行量が少なすぎる。</p>	<p>○北部の観光集積エリアと裾野駅周辺・岩波駅周辺エリア等の市街地を繋げる結節点としての拠点の整備を考えています。訪問客の利便性や交通量等を考慮するだけでなく、道の駅を目的地として整備することが考えられます。今後策定する基本計画において最適な候補地を検討します。</p>
<p>○P5「裾野市内に休憩場所がない」という記述について、国道246号沿いには兎島交差点に休憩可能なパーキングが設置されており、道の駅ふじおやまとの距離感での記載では不十分ではないか。</p>	<p>○御殿場市内の国道246号沿い（上り車線）には、ぷらっとパーク駒門がありますが、ぷらっとパークは、商業施設を一般道からでも気軽に利用できるよう中日本高速道路株式会社が整備しているサービスエリア・パーキングエリアで、道路利用者の休憩や情報共有等の要素の強いものであり、地域連携機能を有する道の駅とは異なります。そのため、道の駅ふじおやまからの距離を示しています。</p>
<p>○観光地の収入は、イベント参加料、乗り物、物販などによるが、何を目的として観光地エリアから市街地に人を呼び込みたいのか意図が不明確。</p>	<p>○観光地から市街地への人の呼び込みの目的は、イベント参加料や乗り物、物販などによる収入が観光地に限定されないよう、また、裾野市における滞在時間を設けることで経済効果に期待するものであり、市街地への流入を促進し、市内全体の経済活動を活性化させることを目指しています。</p>
<p>○裾野市の課題解決の目的に対し、P7で積雪、津波を災害として挙げているが、市内への防災拠点の必要性が伝わってこない。</p>	<p>○P7の課題①に記載していますが、静岡県東部地域を俯瞰した自然災害に対する拠点として、裾野市北部の積雪や地震時の津波等、災害時の情報発信を行う上で、裾野市は適地と考えます。今後、サウンディング調査やワークショップ等により、市民の皆様や民間事業者から幅広いアイデアや意見を求め、導入する施設の内容、規模等、防災拠点としての道の駅を整備するために必要な検討を行っていきます。</p>
<p>○オリンピックレガシーの意図であれば、ナショナルサイクルルートとしての富士山一周を意識した北部エリアを念頭に置いた記述が欲しい。</p>	<p>○令和5年8月に静岡県と山梨県で設立された「ぐるり富士山サイクルツーリズム協議会」において、令和6年3月に「富士山一周サイクリングルート（フジイチ）」ルートが決定されました。ナショナルサイクルルート（NCR）指定に向けた協議会の活動を注視し、今後策定する基本計画</p>

<p>○P3、人口減少と少子高齢化との間に相関関係があるのか。出生数の減は人口減につながっているが、高齢化は人口減少とは無関係ではないか。</p>	<p>の中で、導入機能・施設として検討していきます。</p> <p>○直接的な原因ではないものの、出生率の低下や若年層の減少といった要因を通じて間接的に高齢化を促進することになりますので、高齢化を抑制するためには、出生率の向上や経済の活性化など、多様な対策が必要となります。対策のひとつとして道の駅を整備することにより、賑わいの場や雇用機会を創出し、まちの活力維持に繋がることを目指しています。</p>
---	---

#### 4 道の駅を目指すべき方向性【道の駅基本構想(案)6～7ページ】

意見要旨	市の考え方
<p>○P6_4 道の駅を目指すべき方向性の①観光地としての拠点の中に「裾野市から見る美しい富士山の景観を世界に発信する拠点の整備」を追加する。</p> <p>○P6 の方向性②を「自然を味わう、愉しむ～おいしい水と自然・まちの魅力を愉しむ街へ～」に。おいしい水と空気の恩恵、という狭い範囲だけでなく、広く理解できるサブタイトルの方が相応しいと思われる。さらに、課題解決のストーリーには、③歴史・文化の体感を愉しむ「・裾野市における富士山文化、深良用水、その他歴史や文化を知り、学び、体験、体感でき、何度でも訪れたいくなる拠点の整備」を追記する。</p> <p>○P6、方向性①、②休憩地としての拠点の部分 RV パーク（宿泊地）としての活用を視点として加えてはどうか。RV パーク登録することで、露出度が高まり、一時の休憩拠点から、宿泊するため目的地としての場所に変化し、道の駅の価値を大きく高める。（P14 の⑧に関連）</p> <p>○P6、方向性①、①観光地としての部分 道の駅に訪れた方を市内の他の場所へと繋ぐための、情報発信拠点としての部分を含めてもよい。（後段には触れている箇所があるが、そもそもの方向性として重要な視点だと思う。）</p>	<p>○P2 に記載していますが、「富士山と富士山の恵みを PR する場の創出」として、道の駅整備の目的の中に、富士山は重要な要素として位置付けています。富士山の景観は、富士山のひとつの要素として含まれているものと考えます。</p> <p>○P6 に記載していますが、方向性②は「自然を味わい、愉しむ」ことに主眼をおいており、「まちの魅力を愉しむ」ことや「歴史・文化の体感を愉しむ」ことは、方向性①「立ち寄り、くつろぐ」に内包されるものと考えます。「歴史・文化の体感を愉しむ」要素は、今後策定する基本計画の中で、導入機能・施設として検討していきます。</p> <p>○P9 に記載していますが、道の駅の機能には、24 時間、無料で利用できる駐車場やトイレを提供する「休憩機能」がありますので、RV パークについては、候補地にあわせて宿泊施設の要否等、今後策定する基本計画の中で、導入機能・施設として地域の需要と整備の実現可能性を踏まえた上で検討していきます。</p> <p>○P9 に記載していますが、道の駅の機能には、地域の観光情報等を提供する「情報発信機能」がありますので、今後策定する基本計画の中で、導入機能・施設として検討していきます。</p>

#### 5 裾野市における道の駅整備に関する位置づけ【道の駅基本構想(案)8ページ】

#### 6 道の駅概要【道の駅基本構想(案)9ページ】

意見要旨	市の考え方
<p>○意見なし。</p>	<p>—</p>

## 7 道の駅整備コンセプトの設定〔道の駅基本構想(案)10ページ〕

意見要旨	市の考え方
<p>○競合施設があることを考慮し、独自の強みを持つコンセプトを確立した道の駅を作りたい。でなければ長期的には裾野ヘルシーパークのような経営状況に陥ってしまいかと不安になる。</p> <p>○一度決めたコンセプトをずっと貫くというよりも、より良いものに改善できるよう見直し、新たなことを導入する余地を残し、柔軟な変更ができることが大切。</p>	<p>○競合施設が存在する中で、独自の強みを持つコンセプトを確立することの重要性については十分認識しております。裾野市の道の駅は、地域の特色や資源を最大限に活用し、魅力ある施設を目指します。</p> <p>○ご指摘のとおり、時代の変化や地域のニーズに応じて柔軟に見直しを行うことも大切です。地域の皆様や訪問者にとって魅力的な施設となるよう目指します。</p>

## 8 道の駅導入機能・施設の検討〔道の駅基本構想(案)11～14ページ〕

### ○全般

意見要旨	市の考え方
<p>○「人はどういうところに行きたいと思うのか、集まるのか」をよく検証し、構想を練るとよい。</p> <p>○道の駅として発展していくためには、ここにでしか買えない・ここでしか体験できないなど、静岡県東部、特に隣接の市町にまだないものと呼び込むしかないと思う。大型商業施設は立地的に難しいかもしれないが、道の駅に併設して、特に若い人が集まってくるようななにかを誘致するのが一番良いと思う。</p> <p>○魅力のあるまちというのは、店舗の入替わりが激しくても、今回のように今までにない実行力をもって新たなことに取り組んで進んでいくまちだと感じているので、今の方向性のまま裾野の土地を有効活用できればと思う。</p> <p>○裾野市は、活用できる土地があるので海老名ジャンクションのように近隣や県外の人々のハブとして使える場所を提供した方が発展を望めると思う。</p> <p>○交通量の多い場所が有利かと思うが、近年では「魅力的な道の駅」であれば、道の駅目当てでの行動傾向があるため、かなりの個性が必要。</p> <p>○P12の導入施設イメージ</p> <p>目的と課題は具体で明確である。目的達成と課題解決の手法が導入施設だと認識しているが、施設がどのように目的達成や課題解決に寄与するのか、目的への紐づけができていないように記載したほうが良いのではないかと感じる。また、目的と課題と手法が多岐に渡るため、すべてを達成するためにはすべての施設を導入する必要がある。現状の記載では、ともすれば「道の駅の設置を目的として、可能性のあるものを記載した」とも見られかねない。今後方向性を示し、計画で削ぎ落とされるものを想定しているのであれば、確実に達成すべきこととそのための機能を明記したうえで、優先順位を示す必要がある。</p>	<p>○基本構想では、導入機能や施設規模等、今後検討が必要な要素が多いため、道の駅整備の目的と裾野市の課題解決を図り、道の駅を通じて地域活性化の相乗効果を期待しています。いただいた意見を参考に、今後、ワークショップやアンケート調査などを通じて、地域住民や観光客のニーズを把握し、また、サウンディング調査により民間事業者から市場性や幅広いアイデア、意見を求め、導入する施設の内容、規模、維持管理運営コスト等、魅力ある道の駅を整備するための検討を行います。裾野市の道の駅には強い個性を持たせ、多くの人々が訪れたいくなるような施設を目指します。</p>

①物販施設 ②飲食施設

意見要旨	市の考え方
<p>○市の特産品の商品開発を積極的に後押しし、新たな特産品を企画・開発していくことも積極的に取り組んでもらいたい。</p> <p>○富士山の裾野で育てた新鮮野菜や特産品売り場があること。JA の直売所とは違う購買層をターゲットにすること。(観光客のおみやげを意識した商品と価格設定)</p> <p>○道の駅では、地域で採れる農産物や地域特有の食べ物を販売すると思うが、その中に静岡県と接地している県の特産物コーナーを作ってもらいたい。神奈川、山梨、長野、愛知の特産物を置くことで地元民の利用も増えると思いますし、他所から来た人たちも裾野の特産と一緒に他県の特産物を買えるということで道の駅をより一層利用したいと思うのではないか。</p> <p>○地元の新鮮な野菜を販売。</p> <p>○現在あるふれあい市の生産者が10年後も生産を続けられるかが懸念される。</p> <p>○道の駅内には広範なネットワークを持つコンビニエンスストアを併設すべき。</p> <p>○道の駅自体の魅力が必要なので、提案する。杓間水産に出店してもらおう。市内企業であり地元への出店に異を唱える人はいない。近隣に店舗はあるが市内にはないので、絶対必要である。首長がトップと交渉してお願いするべき。また、さわやかに出店して貰う。首長がトップと交渉して依頼し、近隣への出店を待ってでもこの道の駅に出店してくれるようにするべき。</p> <p>○静岡県東部地方から遠い為、近くにコストコも誘致して欲しい。</p>	<p>○地域資源を活かしながら地域の魅力を引き出していけるよう、いただいたご意見を参考に、今後、ワークショップやアンケート調査などを通じて、地域住民や観光客のニーズを把握し、また、サウンディング調査により民間事業者から市場性や幅広いアイデア、意見を求め、導入する施設の内容、規模、維持管理運営コスト等、魅力ある道の駅を整備するための検討を行います。また、地域の特産品の販売を通じて、裾野市の魅力発信や道の駅の利用者への消費拡大に繋がることに加え、地域産業への波及効果を見込めるため、特産品を使った加工品や新たな商品の開発を検討してまいります。</p>

③休憩・情報発信施設

意見要旨	市の考え方
<p>○トイレ設置は男女少し距離をとった作りにした方がいい。事件防止につながる。</p> <p>○トイレの位置について、ドライバー向けには駐車場からトイレまでの距離を最短にするため、トイレの周囲を駐車スペースで囲む形が理想。大型車向けには、遠方の駐車スペースには第2第3のトイレを設置。障害者専用のトイレは、駐車位置と同一平面上に設置し、乗り降りのスペースと屋根が必要。緊急通報スイッチを通常の着座位置と床近くに設置。緊急時に押せることが重要。通常トイレの設計では、障害者用補助柵の高さや距離が適切でないと思いがち。パイプの位置や高さを調整。</p> <p>○道の駅内にバイオマストイレを設置することが望ましい。これは災害時にも有効であり、費用は森づくり県民税や森林環境税などで賄い、自治体が主体となるべき。</p> <p>○国道246号沿いなら大型貨物が休息できるような設計にしてほしい。</p> <p>○通行止めや工事中、天候による通行の支障などの情報を提供。ライブカメラの設置も検討。</p> <p>○道の駅の情報発信機能により、市内で活動する団体の情報を発信したり地域振興への協力に繋がるようになるよ。</p> <p>○季節ごとの富士山の景色や、登山の注意点、装備の説明などの情報を発信。</p>	<p>○道の駅は、24時間、無料で利用できる駐車場やトイレなどの休憩機能と共に、道路情報や地域の観光情報、災害情報を提供する情報発信機能を併せ持つところです。バリアフリーや防犯、環境対策を含め、具体的な施設・設備については、いただいたご意見を参考に検討します。</p> <p>○道の駅の情報発信機能を活用し、地域の魅力や地域の観光情報や特徴などの情報発信を行い、市民又は利用者間の交流や連携が図られることで、持続的なまちの発展と活力に繋げていきたいと考えています。</p>

○広報のやり方にも工夫が必要。	
-----------------	--

#### ④屋外イベント広場

意見要旨	市の考え方
○遊具などの、小学生くらいまでの子供が遊べる設備が裾野市には少ないので設置して欲しい。 ○ファミリーで立ち寄れるアクティビティが出来る施設を作って欲しい。(周辺散策が出来るように自転車のレンタル等)	○今後どの世代の利用者も楽しめるような施設を検討していきます。

#### ⑤多目的スペース

意見要旨	市の考え方
○市民団体等が定期的にイベントやミーティングに使える会議室も少しあるといい。買い物をし て帰ると思う。施設としては、複合型が望ましい。	○コミュニティの場としての機能だけでなくアクティビティの場、市民の皆様が利用しやすいよ う、具体的な施設・設備については、いただいたご意見を参考に検討します。

#### ⑥防災関連施設

意見要旨	市の考え方
○20年以内に60%の確率で南海トラフ地震が発生し、裾野市では震度6-の揺れが想定されて おり、これから作る道の駅には「災害支援拠点」としての機能を併せ持つことが必要。 来訪者の一時避難場所として防災関連施設(貯水タンクや防災倉庫、非常用発電、防災トイレな ど)を整備するにとどまらず、地盤の良い裾野市は沼津や伊豆半島への自衛隊、県警や消防の防 災ヘリ等の災害時支援隊の支援拠点とするのにちょうど良い位置ではないでしょうか。道の駅を 裾野市の地域防災計画に位置付け市民の安心・安全を提供するとともに、県警や消防、自衛隊と 連携して災害時の支援拠点となることを想定した道の駅構想としてはいかがでしょうか。 ○いつ災害が起きるかわからないので、市の皆が集まれるようなシェルター、防災グッズや防災 時に利用、活用できるような対策を取り入れて欲しい。 ○自衛隊の意見を取り入れ、災害時の連絡経路や備蓄品の確認。 水の確保として、近くの水路からのろ過、井戸掘り、水道が使えない場合の代替案を用意。小電 力発電も検討。 ○防災・減災の拠点にすることはぜひ取り入れてもらいたい。 ○P14、裾野市以南では津波…とあるが、裾野市が津波の被害区域に含まれる想定は、市の計画 にはないと理解しているが、根拠は何か。	○防災拠点としての機能を備えた道の駅として、普通車や大型車の避難場所としての利用が想定 されることから、市民の皆さまだけでなく観光客等の市外からの利用者も安心して利用できる道 の駅とするためにも、有事の際に対応できるように地域の多様なニーズに応え、より多くの方が 安心できるような施設を検討します。 道路利用者の一時避難だけでなく、災害等の有事の際、復興の拠点となるような場所となるよう 考えています。それにあわせて、非常電源や水源等の機能も検討していきます。 国土交通省や静岡県等にも協力を仰ぎながら進めていきたいと考えています。

#### ⑦交通に関連する施設

意見要旨	市の考え方
○岩波駅からバスを運行してほしい。	○岩波駅や裾野駅と道の駅の連携による相乗効果は重要ですので、市民の足の確保にも努めてい きます。

⑧今後、周辺施設などで検討が必要な機能

	意見要旨	市の考え方
<p>富士山の眺望 富士山関連の施設</p>	<p>○P11_8 道の駅導入機能・施設の検討の基本方針①における導入機能の中に「裾野市ならではの富士山の眺望を楽しむ機能」を追加する。</p> <p>「図 裾野市が考える道の駅の導入機能」の背景には富士山を描き、休憩の項目に「富士山の眺望スペース」を追加する。</p> <p>○P13_屋外イベント広場の中に、「美しい富士山を背景に写真撮影できる空間を整備します。」を追加する。</p> <p>○富士山の教育文化施設として、既存の施設の流行らなさを考慮し、事前に需要調査を行い、教育施設の有用性を検討。</p> <p>○集客目的の目玉として、裾野市の魅力である富士山の眺望や地域特産物を活かした集客。</p> <p>○富士山とススキの景観を活かした観光資源。見晴台の設置も検討。</p> <p>○富士山がよく見えて、富士山と一緒に「映え写真」が撮れること。通りすがりに寄る道の駅ではなく、目的地になるような道の駅。(建物外観や景色など)</p> <p>○P11 の導入施設へ、●歴史文化関連施設を追記する。</p> <p>図の裾野市が考える道の駅の導入機能、情報発信の中に●歴史文化の情報を追記する。</p> <p>○P14 の⑦の後に⑧歴史文化に関連する施設として下記を追加する。元の⑧は⑨にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山資料館等に貯蔵されている資料、深良用水特別展示室、若山牧水展示室や郷土資料館などの資料を活用します。</li> <li>・資料の展示だけでなく、歴史文化を体感して学ぶ施設として、映像技術や最新技術の導入も積極的に活用し、何度も訪れてみたい施設を整備します。</li> </ul> <p>○P11、導入施設の箇所</p> <p>世界遺産富士山や、御師の家など富士山にまつわる文化的な部分の施設整備についても検討に含めるべき。外国の方は、文化などについて非常に大きな興味を示す傾向があり、富士山に関係するモノ・コトというだけで集客に繋がる大きな要素となると考える。(P14の⑧に関連)</p>	<p>○P11 の道の駅導入機能・施設の検討は、基本方針から“想定される”導入機能を記載したものとなります。富士山の眺望を楽しむ機能や富士山関連の施設などについては、いただいたご意見を参考に、今後、ワークショップやアンケート調査などを通じて、地域住民や観光客のニーズを把握し、また、サウンディング調査により民間事業者から市場性や幅広いアイデア、意見を求め、導入する施設の内容、規模、維持管理運営コスト等、魅力ある道の駅を整備するための検討を行います。</p>
<p>ドッグラン</p>	<p>○道の駅の導入機能にドッグランがあって嬉しく思う。近年ペットを飼っている人が増えているが、市内には無料のドッグランがない。東名 SA (駿河湾沼津、足柄) を利用しているが、広々としたドッグランで他の犬との交流や情報交換の場にもなっている。裾野市にも同様の交流場所ができれば、裾野の魅力を SNS で発信できる。</p>	<p>○全国にはドッグランが設置された道の駅やペットが入店できる施設を併設した道の駅など、ペットにも優しい道の駅が増えています。いただいたご意見を参考に、他の利用者のニーズを考慮しながら、検討していきます。</p>
<p>温泉施設</p>	<p>○ドライバーや旅行者がゆっくり休憩できるよう、「銭湯」や「カプセルホテル」のような簡易宿泊施設を設置し、熱源として太陽熱温水器(例：矢崎の湯ワイター)を使用する</p>	<p>○いただいたご意見を参考に、今後、ワークショップやアンケート調査などを通じて、地域住民や観光客のニーズを把握し、また、サウンディング調査により民間事業者から市場</p>

	<p>のはどうか。これらの機材は提供してもらえらる可能性がある。風呂の設置は休憩場所としてのアピールポイントになる。</p> <p>○裾野市は、温浴施設がほとんどないので、道の駅に東部最大規模の温泉施設を作る、新たな裾野の土産産業を提供するなど、今の東部エリアに足りないものを提供すべきだと思う。鈴木氏が県知事に当選し、東部への斡旋が見込めないことが分かった以上、市が主導で動いていくしかない。</p> <p>○温泉も作って欲しい。</p>	<p>性や幅広いアイデア、意見を求め、導入する施設の内容、規模、維持管理運営コスト等、魅力ある道の駅を整備するための検討を行います。</p>
<p>いろいろな施設の提案</p>	<p>○道の駅には、特産物(野菜など)、地産地消のレストラン、景色(富士山)、温泉、子供が遊べる遊具、ドッグラン、RVパークなど複合施設があると良い。道の駅の裏側で静かで、富士山が見えるのは良いアピールだと思う。</p> <p>○近年旅行手段の多様化により車中泊も多いことから、道の駅にRVパークを併設し、車中泊での観光需要の取り込みを提案する。更に、日帰り温泉施設の誘致、市民や観光客が散策できる公園、ドッグランなどの併設も検討してもらいたい。</p> <p>○道の駅の中に、フィルムコミッションで今まで撮られてきたドラマや映画のポスター、サイン、撮られた場所等々、展示したらどうか。長野の諏訪湖の湖畔に間欠泉があり、そこの2階に、沢山の展示があり、とても楽しめる。そこを目指して来る人も多いと思う。今回もミッシングを観て市役所の地下の外で撮影したとすぐわかり、写真を撮りに来た友達もいた。沼津のラブライブもその一つだろうが、裾野も小さくても展示館を道の駅の片隅に設置できたらよいのでは。</p> <p>○候補地は、パノラマロード沿いで、建物の形状は富士山型とする。駐車場から道の駅の富士山形状建物と富士山が見えるような場所にする。ダブル富士が見える道の駅と命名し、外人観光客を呼び入れる。道の駅の一階は産直市場とイベント会場とレストラン(裾野市特産品を利用したメニューを複数揃える。実力を有する調理人に指導してもらおう)二階は裾野市にある企業(トヨタ自動車、ヤクルト、不二家、サーティーワン等)に依頼して展示・出店をお願いする。その場合は裾野市・道の駅にしかない製品を展示及び販売するよう企業に協力してもらおう。三階には富士山が見える温泉を建設する。イベント会場では裾野市特産品を利用した料理の教室、裾野市にある企業の講演会、イベントを実施する。等々により他の道の駅にない魅力的な道の駅にしたい。外人観光客によりダブル富士が見える場所としてSNSで宣伝してもらえれば団体で観光客が来る可能性があると考え。ドッグランや一番美しい富士山写真の常設掲示、サイクリストの拠点設置、地場産品等。</p> <p>○ウーブン・シティ、国指定の「ナショナルサイクルルート」、JAふじ伊豆ファーマーズ御殿場、これらを取り入れた企画になれば、これまでに無い全く新しい道の駅が誕生するのではと思う。</p> <p>○登り車線、下り車線は、双方向からのアクセスは交差点が生まれ、事故や渋滞の原因になるため、別々の施設にすると賑わいが減少。入口、出口を分けて一方通行にする設計</p>	<p>○いただいたご意見を参考に、今後、ワークショップやアンケート調査などを通じて、地域住民や観光客のニーズを把握し、また、サウンディング調査により民間事業者から市場性や幅広いアイデア、意見を求め、導入する施設の内容、規模、維持管理運営コスト等、魅力ある道の駅を整備するための検討を行います。</p>

	<p>が有効ではないか。「道の駅すばしり」は交差が煩雑だが、「道の駅ふじ」は別々の施設で安全。道路への影響を少なくするため、信号で右左折して進入する形が良い。</p> <p>○省エネ対策として、駐車スペースに樹木や屋根を設置。太陽光パネルを利用し、災害時の避難場所としても活用。夏季のアスファルトの熱を軽減するため、熱反射や雨水透過など多機能性の舗装にする。食事処・買い物スペースの屋根に断熱・反射塗料を塗り、省エネ効率を高める。太陽光発電や蓄電設備を併設する。</p> <p>○道の駅のロケーションとして、既存のインフラを活用し、駒門 PA 周辺の再開発を検討し、駐車スペースや商用スペースを広げる。</p> <p>○アバターによる市役所機能の一部を担うサービスの導入。専用の人材確保やプログラムの外注も検討。</p> <p>○沼津市のあゆみ橋のように、道の駅と市民文化センターを歩行者専用の橋でつなぐことで回遊性を高め、道の駅の集客力を地域へ流す仕組みも考慮したらどうか。</p> <p>○公共施設の敷地にキッチンカーなどが配置できるよう、都市公園条例などを参考に、公共施設近傍を賑わい作りの拠点として活用できる仕組みも並行して考えてもらいたい。</p> <p>○裾野市の学校再編計画で廃校予定の富岡第二小を本当に廃校にするのであれば、旧校舎を活用してはどうか。首都圏や名古屋圏から人を呼び込む魅力的な施設が作られることを希望する。</p>	
--	--	--

## 9 道の駅立地計画の検討【道の駅基本構想(案)15～17ページ】

意見要旨	市の考え方
<p>○候補地は、将来温泉やキャンプ場などの観光誘致が可能で、かつ土地活用に制限のない、国道 469 号線沿いが望ましい。</p> <p>○須山に作るのなら大野路交差点付近。</p> <p>○須山は、観光地であり、毎日多くの県外市外の車が通り、観光客からも道沿いに店がないかと尋ねられることが多い。また、富士市や富士宮市へのアクセスが良く、富士山が間近に見える。</p> <p>裾野市は観光にもっと力を入れるべき。須山が今後の発展地域であると思う。富士市や富士宮市へのアクセスが良く、観光客で賑わっている。</p> <p>○候補地は、国道 469 号沿いはないと思う。防災目線で避難拠点を考えるなら、そもそも遠すぎてその場所に辿り着けず、行く途中でさらに被災すると思われる。また、地元民すら行く気がなくなります。ますます、高齢化社会になり、車生活ではない人が増えると、遠いところは老若男女受けないと思う。国道 469 号沿いに作るなら、道の駅ではなく大きい公園かドライブインの施設でよい。</p> <p>○候補地 B は、久保川と黄瀬川の合流に加えて御殿場線も近くで見られる景勝地で、かつて御</p>	<p>○候補地については、導入機能・施設に必要な広さ、交通量や富士山の眺望、集客性、維持管理運営コスト等複数の項目を総合的に検討し、今後策定する基本計画の中で、学識経験者や市民の皆様からの意見を取り入れた上で、最適な候補地を決定します。</p>

宿水道の水源となった湧水が豊富で、その水には希少ミネラル成分のバナジウムが含有され(富士の銘水)といえる。道の駅、川の駅、水の駅としても集客力が期待できると思う。

○候補エリア B がふさわしいと思う。ウーブン・シティの開発や岩波駅周辺整備と併せての道の駅設置を望む。

○候補地として、市北部に位置するウーブン・シティ横の国道 246 号線沿い、東側のトヨタ寮跡地はどうか。東名裾野インターに近接し、将来的に県道仙石原線とインターが接続されることで箱根からの帰りの車の取り込みや地場産業の土産物の売り込みができる。また、東側は久保川と黄瀬川の合流点に位置し、溶岩流の溪谷が絶景となり名所となるポテンシャルがあるため、吊橋や富士山を一望できる展望台の設置はどうか。将来的には空飛ぶ車で富士のすそ野観光も想定できる。岩波駅からも徒歩 5 分という利便性があるため、トヨタとの協力も考えるべき。

○候補地 C がよい。富士山の写真撮影が問題となっているが、この辺りは富士山の絶景が見え、この地域で富士山の写真撮影をするスポットとして売り出したら、観光ルートに組み込まれるくらいのインパクトがあるのではないかと。駐車場として、道の駅ふじおやまの 10 倍以上のスペースを確保したほうがよいと思う。この地域なら、広大な用地の確保が可能である。課題としては、この地域が農地(田んぼ)であることが挙げられる。

○地権者にもよるが候補地 C 周辺で、黄瀬川沿いまで広域に整備されると面白い。

○立地路線は国道に限られているが、それ以外の路線も検討する余地はないのか。富士山の借景と既存の施設を取り入れ有効活用し、自然を味わえる路線沿いの候補地を再考すべきではないか。候補地の国道 246 号沿いは、沼津市～小山町間で裾野市区間が最も交通費が多く、安全に通過車両を流すことを最優先させるべき。施設への流出入による交通障害や大型車の駐車問題等も懸念される。

○候補地が具体的でないため、A と D では大きな違いがある。

○候補地が既に決まっているように感じられるが、他の有力な候補地も考慮すべき。裾野インターチェンジや駒門 PA スマート出口近辺も候補に含めるべき。

○場所を石脇の文化センター大ホールを潰して建て直し他は残す。設計によっては小ホールも潰す。プールの跡地と西側水槽の北側の林と黄瀬川を一体とした公園にする。なるべく自然を残して。大ホールはもったいないけど、基本構造を残して広い空間にしておくのもどうか。

○市の職員だけでなく、各ジャンルの有識者を交えて多角的に施設案が出ればよい。何パターンか施設案を出して、みんなで投票したらどうか。体験型にすることで皆の関心も高まり、注目度は増す。整備するからには、巻き込み型にしても面白いと思う。投票で決まった道の駅は、話題性があり、メディアに出しやすいと思う。

○裾野市の推しは「一番美しい富士山が見えるまち」であり、ただ見えるではなく「すごいね」と言ってもらえる場所が最適。

<p>○P15、表中の地域住民の利用のしやすさにおいて、裾野市の人口の4割が調市街化整区域内に居住していることを踏まえても、住居系用途地域の有無には意味が感じられない。</p> <p>○P17の表中で交通量を示しているが、何を目的とした移動なのかということが重要ではないか。</p> <p>○P17の道の駅候補地の比較表</p> <p>他の公共施設や、公園などの緑地との連携、アクセスを評価に入れるのはどうか？ 河川敷、桜並木、芝生、公園など立ち寄り、休憩場所の拡張手段となり得る既存施設の徹底活用の観点を候補地の選定基準として入れたらどうか。候補地D付近が立地的にふさわしいのではないか。</p>	
---	--

## 10 道の駅整備・管理運営手法の検討〔道の駅基本構想(案)18～20ページ〕

意見要旨	市の考え方
<p>○P20の比較表、駅長の有能性に左右されるのは、自治体直営のみではないため、記載する必要がない。PFIの特徴と課題は不要か。</p>	<p>○道の駅の魅力化には、地域の特性や資源を俯瞰し、顧客やマーケットを知り、生産者や商工業者をつなげるプロデュース力のある駅長（運営責任者）の登用やスタッフの育成が重要です。企業体としての実績を持たない地方自治体が運営する場合、経営能力のある有能な人材を確保するノウハウが不足しているため、課題として挙げています。指定管理者制度の活用の場合の比較を記載したものととなります。今後、基本計画を策定する中で、考え得る管理運営手法の詳細な比較検討していきます。</p>

### ○その他(道の駅全般)

意見要旨	市の考え方
<p>○道の駅は地元住民と観光客のどちらを優先するのか。</p> <p>○道の駅が裾野市の活性化の起爆剤となることを期待しているため、強い集客力を持った他にはない魅力的な道の駅にしてほしい。</p> <p>○基本構想については、大まかに賛成。作るなら、細部まで圧倒的な施設内容にするべき。裾野市はこれとって、絶対的な観光名所がないため、道の駅自体に足を運びたいようなイベントだったり、施設内容を作るべきだと思う。よりコンセプト設定も大事。その土地限定商品を作るのも一つの手だと思う。型にとらわれず、テーマパークより道の駅を作ってみてはどうか。</p>	<p>○道の駅については、道路利用者への快適な交通環境の提供とともに、地域振興に寄与する性質を持ち合わせています。道路利用者、市民、近隣住民、観光客、訪れるすべての人に利用しやすく、様々な目的で多様な世代が集い、賑わいをもたらす「道の駅」としての特性を最大限に活かせるような整備を目指します。</p>

### ○その他(道の駅の名称)

意見要旨	市の考え方
<p>○道の駅の名称は、「道の駅・宿富士裾野」が良いと思う。</p> <p>○駅の名称も工夫が必要（聞いてすぐに分かる事）。「道の駅 富士山裾野」、「道の駅 富士山すその」</p>	<p>○道の駅の正式名称については、募集方法等を含めて、今後検討します。</p>

○その他(整備スケジュール)

意見要旨	市の考え方
<p>○「いつまでに」「どうしたい」が分かりづらい。構想においても大きいスケジュール構想の提示は必要だったのではないか。</p>	<p>○基本構想は、どのような道の駅にするのか方針を決定する段階であり、導入機能や施設規模、整備・維持管理・運営手法等、今後検討が必要な要素が多いため、スケジュールに関する事項を提示していません。今後、基本構想を受けて、道の駅の規模や整備などの設計の与条件をまとめる段階である基本計画において、スケジュールをお示しします。</p>

○その他(コスト)

意見要旨	市の考え方
<p>○全体として、今後、計画を進めるにあたって、どの程度の税金を投入することになるのか、イニシャルコスト、ランニングコストともに見込みを示さなければ、事業効果を測ることができないのではないか。</p> <p>○・記載外</p> <p>概算でもイニシャルコストとランニングコストの記載がないのはなぜか。必要性に対して懐疑的な意見も散見される中、コストも含めた有用性を示す必要がある。②で記載した優先順位を明確にし、最低限必要な施設で構築した際の IC・RC、すべてを満たす施設構築した際の IC・RC といった記載をする必要がある。合わせて一体型と単独型のシミュレーションも記載することにより、この構想の市民理解は深まると考える。</p> <p>○賑わいの場の創出の一番の目的は、市民の利益だと思う。ごみ処理の負担や道路混雑の損失を上回る経済的な利益を確保する手段について、地場産品の販売、地元資本による飲食店の展開などの利益の見込みを記載すべきではないか。</p>	<p>○基本構想は、どのような道の駅にするのか方針を決定する段階であり、導入機能や施設規模など今後検討が必要な要素が多いため、概算事業費等のコストに関する事項を提示していません。今後、基本構想を受けて、道の駅の規模や整備などの設計の与条件をまとめる段階である基本計画において、道の駅の想定利用者のニーズ調査を実施し、需要予測から道の駅の導入機能及び施設規模を検討し、概算事業費を算出します。併せて、施設の整備・維持管理・運営について、最適な手法を決定するため、今後の進捗に合わせて官民連携導入可能性調査を行い、活用可能な補助制度について整理し十分に検討します。</p>

○その他(他事例)

意見要旨	市の考え方
<p>○道の駅構想に賛成する。道の駅クロスを成功事例として参考になればと思う。</p> <p>○三島市の安久の道の駅を参考にして、さらにバスが立ち寄れるロケーションで、ウーブン・シティがある市にふさわしい、恥ずかしくない道の駅を希望する。長泉の産直の方がまし。裾野は遅れている。</p> <p>○道の駅保田小学校や道の駅ヘルシーテラス佐久南といった他の成功事例もしっかりと分析する等の切り口による検討も必要。</p> <p>○静岡県の川根温泉、下加茂温泉、山梨県のこぶちざわ、こすげ、群馬県の川場田園プラザ、あがつま峡、ららん藤岡、岐阜県の池田温泉、みのかも、長野県的美ヶ原高原、オアシスおぶせ、小谷、富山県の氷見、愛媛県の多々羅しまなみ公園、山口県の螢街道西ノ市などが良い例。</p>	<p>○これまで整備された道の駅の事例を参考に、整備・維持管理・運営手法を研究・分析し、本市の道の駅に最適な事業形態や事業方式を検討します。</p>

○その他

意見要旨	市の考え方
<p>○買い物やアミューズメントを求めて、裾野市民の殆どが市外に行く状況で、道の駅に何を期待しているのか全く意味不明で理解が出来ない。駅前も結局は住宅が多く、区画整理以外のプラスアルファが見えない現状では、道の駅に対する期待も無い。道の駅が出来れば外から人が集まって活性化に繋がるという考え方には、市民の住みやすさや暮らしやすさには目を向けず、市民が蔑ろにされているとしか感じない。東と向田の小学校の統合が何を示しているのか、市民の満足度が上がらないこの地に出来る道の駅に期待は無い。</p> <p>○市の多くの課題解決を道の駅に期待するのは無理がある。方向性・整備コンセプト・導入機能や施設は広げず絞るべき。莫大な事業費が市民の理解が得られるのか、実現の可能性に疑問がないかなど、具体化が見えない現段階では必要性を感じられない。</p>	<p>○道の駅整備は、令和3年1月に策定された第5次裾野市総合計画「大綱4. 将来を見据えた暮らしや活動を支えるまち」に基づき進められているものです。道の駅整備により、裾野市のすべての課題解決を図っていくことは難しいことですが、持続的なまちの発展と活力に繋がる課題解決の手法のひとつとしてあり得るものと考えています。事業費や実現の可能性については、今後策定する基本計画において検討していきます。</p>

○上記以外に、実施要項に定めた条件を満たしていなかった意見の提出が7件ありました。これらのご意見についても、参考とさせていただきます。

以上